令和６年度 第4回宝塚ボランタリープラザ zukavo 運営委員会 要旨

日時：令和7年2月5日（水）13:30～15:30
場所：ぷらざこむ1 24会議室

参加者：大西氏、石村氏、岡本氏、塩川氏、足立氏、平尾氏、池本氏、事務局(宮田、大関、森本)

内容
1．開会
2．報告事項
（1）ボランタリー活動助成の申請状況・見直しについて
①事務局より資料を元に説明する。

（2）次年度の運営委員選定について
①事務局より資料を元に説明する。改選予定あり。

（3）情報共有・公益財団法人プラザ・コム解散について
①事務局より説明する。
・公益財団法人としては、今年度3月末にて法人解散する。その後は市・こむの事業所・社協の3者で協議中。詳細は未定で今後も継続協議。

3．協議事項
（1）令和6年度の事業報告と令和7年度に向けて
①事務局より資料を元に説明。
＊主な意見等
・市地域福祉計画では福祉教育推進が重点事業となっている。小学生ボランティアクラブによる居場所づくりカフェ活動はとても良いものである。市社会福祉審議会でも報告する予定である。
・学生団体に依頼してみるのも一つの方法である。
・市内の中学校は、クラブ活動が廃止されることが決定している。地域のボランティア活動にうまく誘導できればよい。将来たのめのジュニアボランティアを養成して欲しい。
・勤労世代の男性も在宅ワークが浸透して、小学校のPTAやボランティア活動に参加することができるようになった。男性を活動に引き込む方法を考えて欲しい。
・福祉施設と地域をつなげるボランティアがもっと増えれば良い。多様な人が施設に出入りすることで、虐待防止にもつながる。
・介護人材不足については、スキマバイトの「タイミー」を活用している。マッチングアプリの感覚で一般的な雇用の手順をスキップできる。スマホ一つで応募できるためハードルが低い。
・大学において学生ボランティアを募集して、成功体験を経ることにより、自主性を持ち、活動が継続することがみられた。将来のために地元の中学生を地域活動に巻き込んで行ければ良い。
・「楽しい」と感じる経験をさせることが大切である。
・災害時等は特に、普段からの交流等が無いと助け合い活動に支障をきたすことになる。かといってどのような方法が良いのか？

4.その他

今後の事業日程

・2 月 8 日（土）13:30～ セルフヘルプ×防災講座

・2 月 22 日（土）13:30～ ボランタリー活動助成報告会・グループ登録説明会

・3 月 5 日（水）13:30～ フードドライブ交流会

・3 月 20 日（木・祝）10:00～ 災害ボランティア講座

その他イベント告知

2/15（土）トーキョーコーヒー末成デイジー主催のイベントを実施。

2/7（木）市子ども総合相談課 主催で、「ジブリに学ぶ 子どもの心と保護者のかかわり」イベントを実施。

以上